

やまとゆきはら 白瀬南極探検隊 (福音館書店 / 2002 年)

探検する 絵筆で極地を

えほんさっか
絵本作家・関屋敏隆
せきやとしたか

えふで
きよくち

会期

2023 年 4 月 8 日 (土)
～ 6 月 18 日 (日)

関屋敏隆講演会

2023 年 4 月 22 日 (土)

※詳しくは裏面をごらんください。

- ・開館時間
午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
- ・休館日
月・火曜日、国民の祝日
(5月3日～5日は特別開館します)
- ・入館料
大人 300 円 (250 円)
小中学生 150 円 (120 円)
※() 内は 20 人以上の団体料金
※東近江市民は無料



科学技術週間
登録イベント



PIONEER CITY
東近江イatism
HIGASHIOMISM



南極点 夢に挑みつけた男 村山雅美 (ポプラ社 / 2018 年)



東近江市 西堀榮三郎記念探検の殿堂

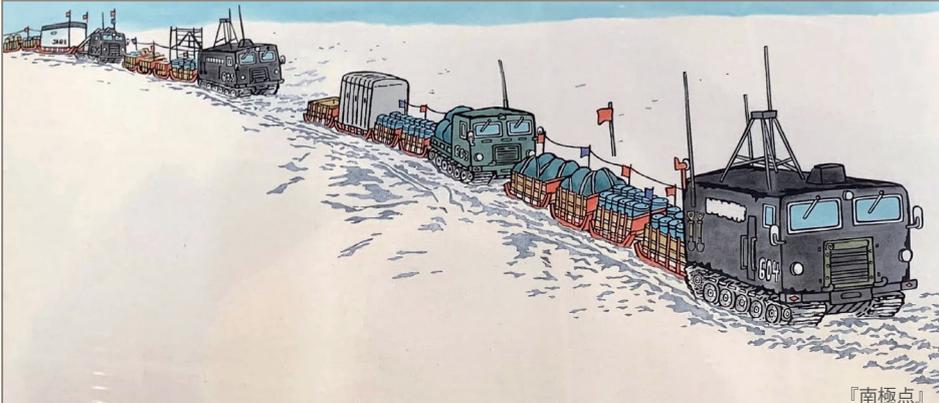
〒527-0135
滋賀県東近江市横溝町 419 番地
電話 0749-45-0011
IP 電話 050-5802-2291
FAX 0749-45-3556



公式サイト>>



『やまとゆきはら』



『南極点』



『さむがりのねこのタケシ南極へいく』

関屋敏隆氏はこれまで、白瀬 轟（しらせ のぶ／日本人最初の南極探検家）や村山 雅美（むらやま まさよし／南極点到達者）など、極地とそこに挑む人びとの魅力を絵本に描いてきました。

今回、西堀榮三郎ら第一次越冬隊を描いた新作『さむがりのねこのタケシ南極へいく』のほか、『やまとゆきはら 白瀬南極探検隊』『南極点夢に挑みつづけた男 村山雅美』『北極点 かけろ！クマ 犬ぞりアタック隊』の作品の原画を展示します。

せきや としたか
関屋 敏隆



1944年 岡山県津山市に生まれる。京都市立美術大学（現在の市立芸術大学）工芸科染織専攻卒業。大学生のころからサイクリングによる野宿を楽しみながら日本中をスケッチしてまわる。絵本の制作には、切り絵、木版画のほか、型染版画（かたぞめはんが）という珍しい手法を使い、読んだ人にインパクトを与えている。

著作リスト

- 馬のゴン太旅日記（小学館／1984）
- ぼくのくつあらへん（文研出版／1988）
- でんでん虫号は時速5キロ（童心社／1991）
- みみずのたっくん さあ、にげろ！（ポプラ社／1992）
- サイクリングやっほー（講談社／1995）
- オホーツクの海に生きる（ポプラ社／1996）
- なみにゆられてぼん（文研出版／1996）
- 水晶さがしにいこう ひげつところえ（童心社／1999）
- ぼくらは知床探検隊（岩崎書店／2000）
- まぼろしのデレン 間宮林蔵の北方探検（福音館書店／2005）
- 楽園 知床に生きる人びとと生きものたち（くもん出版／2005）
- シーカヤックで いこう（福音館書店／2010）
- 龍馬の絵本 なかおかはどこぜよ（文：田島征彦 復刊ドットコム／2014年）
- 北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検（ポプラ社／2014）
- りゅうじんさまは歯がいたい（ポプラ社／2015）
- 鉄人衣笠（小学館／2018）
- 北極点 かけろ！クマ 犬ぞりアタック隊（ポプラ社／2022）

関屋敏隆講演会 [先着順・Zoom 配信あり]

4月22日(土) 西堀榮三郎記念探検の殿堂 探究館

■第1部 午後1時30分～2時20分

極地探検を絵本で描く理由と新作「さむがりのねこのタケシ南極へいく」のお話

■第2部 午後2時30分～3時20分（予定）

南極など極地に関するゲストを迎え、関屋さんと対談します。

定員：現地参加 20人程度、Zoom 参加も可能です。

参加費：無料 ※市外の方は別途入館料が必要です。

申込：電話（0749-45-0011、IP 電話 050-5802-2291）

またはメール（tanken@city.higashiomi.lg.jp）でお申込みください。メールの場合は必ず①イベント名

②氏名 ③年齢を明記してください。

[4月1日(土) 午前10時から受付開始]

■ ゴールデンウィーク特別開館 & イベント

5月3日、4日、5日は特別開館日です。南極に関連するワークショップや体験を行います。

5月3日(水) ▶ 南極のいきもの紋切り

5月4日(木) ▶ おしゃべりペンギンカード作り、南極の食かるたとり

5月5日(金) ▶ プログラミング体験、3D モデリング体験

参加方法や費用など
くわしくはこちら▶

